

..... 編集後記

◆ 地球温暖化の影響か、異常気象が続いていますが、皆様お元気でお過ごしですか？各地で記録的な集中豪雨が発生、特に東北地方南部から北陸地方にかけての地域で大きな被害が発生しました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。その一方、関東を中心とする地域では記録的な猛暑、甲府市で40.4度、観測史上2番目の高温を記録しました。そして南の方を見ると大型台風が虎視眈々と日本をねらっています。

◆ さて今月号は、金鉱床・鉱業活動・環境汚染・活断層・メタンハイドレート・博物館紹介など、さまざまな話題が詰まった1冊になりました。特集号が続いたためか、新鮮さ？違和感？を感じるような気もします。

◆ 石原特別顧問の「縞状鉄鉱層と金鉱床」は、日本では見られない古い時代の金鉱床の話、見たこともない金鉱石や日本では見られなくなった鉱山の風景・異国情緒たっぷり人々の生活などの写真を見ながら、楽しく読んでいただけたと思います。

◆ 「モンゴルにおける鉱業活動」は国際協力機構の専門家としてモンゴルに赴任していた高橋氏から寄せられました。最近増えたと言ってもまだまだ情報の乏しい地域の最近の鉱業事情についての貴重なデータ、鉱業や経済関係者から注目されそうです。

◆ 川幡氏の「危険化学物質による環境汚染」は最近注目されている世界的な重要問題であり、私達一人一人の健康にも関係する切実な問題でもあります。今後この続きが連載されますので、これを参考に私

達自身、健康の保持に、環境の改善に何ができるのか？何をすべきか？考えてみたいものです。

◆ 活断層研究センターからは(財)地域地盤環境研究所との「大阪堆積盆地の活断層と地震動予測」に関する合同研究発表の概要が、地圏資源環境研究部門からは「日本のメタンハイドレート」に関する成果報告会と地質標本館での特別展示の概要が報告されました。どちらの課題も両センター・部門の重要課題、今後の研究の進展が注目されます。

◆ 「磐梯山噴火記念館」は佐藤副館長による同館の紹介です。磐梯山の山体崩壊は近代火山災害史上、最大の災害の一つ。日本各地で想定される火山災害を考える上で貴重な情報、それらが詳しく展示されているようです。是非、訪れてみたいものです。

◆ 高木・深谷氏の「土浦・八坂神社の礎石」は石材と神社や物流の歴史にまたがる興味深い話、皆さんの身近かな所にも、こんな興味深い話がたくさんありそうですね。

◆ 加藤氏の「みちのく石便り」は福島県下のさまざまな石にまつわる楽しい話です。まもなくやってくる秋の行楽シーズンに「磐梯山噴火記念館」とともに訪ねてみてはいかがでしょうか。

◆ 吉田氏の「阿波の土柱」も、その名のいわれや成因など興味深く読んでいただけたと思います。こんな記事を読んだ上で、現地を訪れることができれば、土柱も一層素晴らしく見えるでしょうね？

(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：山本茂男

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3603

Fax. 029-861-3602

地質ニュース

第600号 2004年 8月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2004年8月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2004 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。